

4 GPA制度による成績評価について

GPA制度は、大学教育における成績評価制度のグローバル・スタンダードとして、現在、国際的にもっとも認知度の高い制度です。大学教育の国際的競争環境に関する教員と学生双方の自覚を高め、GPAを核とした的確な履修指導や学習支援システムを充実させることにより、学生の自立的な自己教育を支援し、本学の教育を質的に一層向上させることを目的としています。

■GPA制度の概要

各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい、5段階（A、B、C、D、F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（Grade Point）を付与して、1単位あたりの評点平均値（Grade Point Average）を算出する方法です。GPAは、不合格を意味するF評価の成績を含めて以下の計算式で算出しますが、F評価であった科目を再履修してD以上の評価を得た場合、最後についたF評価は新たな評価に書き換えられて算出されます。

◆判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

〔GPA算出方法〕

$$(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0) / (A + B + C + D + F)$$

①～⑤はA～Fの評価がついた科目の単位数の合計

成績通知書には履修した全ての科目の評価とGPAが記載され、成績証明書には不合格科目を除く履修した全ての科目の評価とGPAが記載されます。

なお、一部「合格／不合格」で評価される科目もあり、当該科目はGPAには算入されません。

◆成績評価の書き換えについて

F評価であった科目を再履修してD評価以上を得た場合、直近のF評価は新たな評価に書き換えられます。

例

●〈再履修回数1回の場合〉

履修年度	科目名・クラス	評価		履修年度	科目名・クラス	評価
2020	グローバル地域文化論 I	F	書き換え	2021	グローバル地域文化論 I	C

2020年度の「F」評価が2021年度の「C」評価によって書き換えられます。書き換えられたことによって2020年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなります。

●〈再履修回数 2 回の場合〉

履修年度	科目名・クラス	評価		履修年度	科目名・クラス	評価
2020	グローバル地域文化論 I	F	成績確定 ▶ 書き換え ▶	2021	グローバル地域文化論 I	F
2021	グローバル地域文化論 I	F		2022	グローバル地域文化論 I	C

2021年度の「F」評価によって2020年度の「F」評価は確定。よって以後の成績通知書にこの「F」評価は記載されます。

2021年度の「F」評価が2022年度の「C」評価によって書き換えられます。書き換えられたことによって2021年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなります。

〈注意事項〉



- 「大学コンソーシアム京都単位互換科目」「同志社女子大学単位互換科目」「プロジェクト科目」は成績を書き換えません。

■履修中止制度

1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については、定められた期間中に、一定の条件のもとに、登録科目の履修中止を認めます。なお、夏期集中科目については授業開始後に別途履修中止期間を設けます。期間外の履修中止はできません。

■クレーム・コミッティ制度

大学が学生からの授業内容・授業方法に関する改善の要望や成績評価に関する質問や異議申し立てを受け付け、調査し回答するために、クレーム・コミッティ制度を設けています。

- 受講している科目の授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、グローバル地域文化学部事務室に申し出てください。なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が授業担当者に明かされることはなく、相談によって不利益を被ることはありません。

■追試験制度

全年次生を対象として病気またはやむを得ない事由により、定期試験ならびにグローバル地域文化学部教授会が認める臨時試験（中間テスト等）を受験できなかった場合、追試験の申請を行うことができます。詳細については122頁「学業履修について」及び学内の掲示板で確認してください。

■成績評価結果の公表

各学部・研究科が定める科目を除き、授業クラス毎の平均点および評点の分布を大学ホームページ上で公開します。

■科目担当者による授業講評

科目担当者が、学期末試験やレポート試験結果および「学生による授業評価アンケート」などを含めた授業関連活動に関する講評を、大学ホームページ上で公開します。教員と学生間の教育的フィードバックを目的として実施されています。